

市長と語る会

開催報告

高山市の文化振興を図るため、八月二十八日に市役所において文化協会主催の「市長と語る会」を開催しました。市からは國島市長をはじめ、中村教育長、幹部職員四名、文化協会からは小林会長をはじめ役員九名が出席し、活発に意見を交換しました。

主な議題は、「新文化会館建設基金条例制定」について、市長の重要政策の一つ「文化振興」についての二点でした。その内容は次の通りです。

一、「新文化会館建設基金条例制定」について

(協会) 文化会館は建設後三十三年が経過し、ニーズの変化、設備の老朽化が顕著になりつつある。昨年実施した

アンケートでも、七割以上が新文化会館の建設を望んでいる。早期に「(仮称)新高山市民文化会館建設基金条例」を制定し、寄付を受け入れる環境作りをしていただきたい。

(市) 本年度中には条例を制定し、市民からも寄付を募りたい。建設時期は明確にできないが、基金は早めに作り、ふるさと納税など市外の人からも寄付してもらえようと考えていきたい。

(協会) 合同庁舎が駅西に建設されると聞いたが、文化会館も含めて駅西周辺を総合的に考えていただきたい。

(市) 建設の場所も含めて、総合的に市民が利用しやすいように考えていきたい。建設

に際しては文化協会にも協力いただきたい。

二、市長の重要政策の一つ「文化振興」について

(協会) 第八次総合計画の中での「文化振興」について、市長が考えられる具体的施策についてお聞かせいただきたい。

(市) 持続可能な地域づくり



をしていきたい。子ども達が地域を誇りに思えるよう、高山の本物の文化に触れさせ、本物志向を持てるよう育てていきたい。

(協会) 市内の史跡を市民に知っていただく事業「市民歴史散歩」を長年継続しています。昨年度より訪ねる史跡を支所地域に広げ、文化・歴史をさらに探訪していきたいと

考えています。その際、ぜひ文化財課の学芸員の方に現地で説明をしていただきたい。

(市) ぜひ活用してほしい。市民の中にも歴史や考古学などの研究を熱心に行っている方がみえるので、そういう方にも協力してもらって実施していただきたい。

(協会) 昨年度よりまちの博物館所蔵品をお借りして、文化会館内で展示会を実施している。本年度は二月実施を予定している。今後も長く実施していきたいと考えているが、文化財課のご協力をお願いしたい。

(市) 文化財は、保存も大切であるが活用することも大切であると考えているので、協力して進めていきたい。

その他、文化芸術鑑賞事業の学校への案内、文化会館の料金改定などについての話し合いを行いました。

希望者に無料配布 「飛驒文藝」

第三十九回飛驒文芸祭作品集「飛驒文藝」を、文化会館及び煥章館にて無料配布中です。なお、配布は無くなり次第終了します。

「岡目（目）」

「私はアンタが誰か知っとるよ」と言われて振り返ったら、ハイカラなパラソルを持った知らない女の人立っていた。夏休みの宿題で、神明町で写生をしていた時、私は小学一年か二年だった。

ポカーンとしている丸刈りの坊主を見て、笑い乍らパラソルの人は森下町の方に去って行った。戦後の貧しさの中で、人は生きるのにせいっぱいだった。そんな中で白昼夢のようにこのシーンは私の記憶に残っている。パラソルどころか、女の人にはまだモンペ姿もあり、サザエさんちのお母さんみたいな髪型の人も多かった。

大正ロマンというのがあ。自由でのびのびと、特に女の人が明るく解放されて、家の外に出て行った。昭和十三年に高山高女本科を卒業した八十二人は、当然大正生まれ。

八十二人の一人で最後まで元気だった、パラソルの人、上木礼子さんが今年亡くなった。享年九十四歳。高山の古き良き時代がまた一つ消えた。

市民時報が届くと、最初に「おくやみ」欄を読む人が多い。

〈ガンモン毛筆〉

道伝えの日

芭蕉忌句会 ● 入賞句発表 ●

十一月二十八日(土)に、高山市文化伝承館(城山)で道伝えの日事業「芭蕉忌句会」を開催しました。以下にその入賞句をご紹介します。

◎一般の部(順不同)
兼題句「時雨」
俳誌『飛驒』代表 小島幸男選

【特選】

目覚むれば夫癒えてあれ
小夜時雨 伊藤 浩子

秋時雨昨日生まれし子牛
の目 渡瀬 教子

お忍びの客送りけり初し
ぐれ 三島 芙蓉

互選

【一席】
花嫁に大きくひらく時雨
傘 鈴木善一郎

【二席】
秋時雨昨日生まれし子牛
の目 渡瀬 教子

【三席】
片時雨野良着一撫でして
去りぬ 北川登志子

当季雑詠句(秋・冬)

俳誌『飛驒』代表 小島幸男選

【特選】
人亡くてむらさき淡き菊
なます 伊藤 浩子

耳切つて匂ひだす和紙冬
の雷 鈴木善一郎

墨書土器出土の丘や鳥渡
る 小泉 孝子

互選

【二席】
目で追へば風となりゆく
秋の蝶 田村 喜栄

【三席】
乗鞍岳天にありけり稲架
日和 桐山 久枝

夕暮れが追ひかけてくる
秋じまひ 奥田貴美子

◎高校生の部(順不同)

俳誌『飛驒』代表 小島幸男選
飛驒神岡高等学校

【入賞】

草紅葉山からの風うずを
巻く 一年 釜坂 実優

校庭の日陰に一人秋明菊
一年 茂利 亜未

方言の抜けない教師秋う
らら 三年 原田 兼肖

高山西高等学校

【入賞】

赤とんぼビー玉の目です
まし顔 一年 新家 千晶

雪の中無音の様に孤独感
二年 滝村 涼

虫の音に耳を澄まして名
をあてる 三年 山田 彩花

(一社)高山市文化協会加盟団体

文化協会後援催事

フェリーチエ音楽院創立三十
周年記念公演 ヘンデル「メ
サイア」全曲

◇日時 十二月六日(日)

午後二時

◇会場 高山短期大学文化記
念講堂

◇料金 千五百円

フェリーチエのクリスマスコ
ンサート Vol. 25

◇日時 十二月二十日(日)

午後二時

◇会場 文化会館・三階講堂

◇入場無料(飲物・菓子付)

岩畠玲子和装学院「成人式チ
ャリティー着付け」募集中!!

希望者の個性に合わせた着
付けや帯結びを行います。男

性の着付け可。

◇日時 一月十日(日) 午
前九時

◇会場 総合福祉センター
(昭和町)

◇申込 電話三三・二九四八まで

◇料金 不要(チャリティー募
金有)

◇定員 三十名(先着)

高山市文化芸術鑑賞事業

○主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ○お問い合わせ (一社)高山市文化協会(tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

流れ星 林家ホウ久蔵

爆笑寄席!

流れ星

平成28年

1/24 日 午後2時開演
午後1時30分開場

高山市民文化会館
小ホール 高山市昭和町1丁目188-1

チケット料金(税込) [一般] 2,000円 [メセナメイト会員] 1,500円
全席指定 [ジュニア(18才以下)] 500円

チケット発売 12月5日(土) 午前10時～
インターネット受付 午後1時～
http://www.takayama-bunka.org

プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180

